

平成30年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	平成30年12月17日(月) 於：陸上自衛隊那覇駐屯地
委員	矢吹 哲哉(委員長：琉球大学名誉教授) 堤 純一郎(琉球大学工学部教授) 原田 泰人(公認会計士) 古堅 豊(弁護士) 山城 勝(沖縄県経営者協会常務理事)

I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成30年7月1日 ~ 平成30年9月30日		
審議対象件数	75件		
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	5件	(審議概要)	
建設工事	一般競争	0件	・契約状況、指名停止状況、低入札価格調査等について報告 ・工事概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について説明
	一般競争(政府調達協定対象外)	2件	
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	3件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問	【低入札価格調査】 シュワブ(H30)既設建物解体工事(その1)の抽出事案に記載		
○それに対する回答等	【抽出事案について】 ● 工事 一般競争入札方式 (政府調達協定対象外) 瑞慶覧等(30)通信ケーブル付替工事		
	○ この工事は、宜野湾市と金武町の2つの工事をセットで出しているが理由は何か。また、この工事は1者応募	○ 両地区とも小規模な工事であり、工事内容も同種であったことから、今回、宜野湾市と金武町の工事を合わせて発注した。	

であるが、結構、難しい工事なのか。

また、関係機関等との調整があり、難しい工事と考えられた可能性はある。

**一般競争入札方式
(政府調達協定対象外)
シュワブ(H30)既設建物解体工事(その1)**

○ 4社のうち3社が予定価格の約半分の価格で応札しているが、予定価格と入札価格で差が生じたのは積算項目のどの項目か。

○ 積算項目全体で予定価格と差額が生じている。

○ 産業廃棄物処理費を含んだ予定価格となっているが、施工した際にこれらの数量が変更となった場合はどのような対応を行うのか。

○ 施工量の変更については、受発注者間で協議を行い、変更契約を行うなどして対応することになる。

○ シュワブ(H30)既設建物解体工事(その1)は予定価格の約半分くらいで応札され、契約しているが、当該金額で応札した理由は何か。

○ 受注者によれば、当該工事の施工時期は協力会社の手待ち時期にあたるため労働力等の費用を抑えられること。また、自社で建設重機を所有していることからコストの低減が図れることから当該価格で応札したとのことである。

○ シュワブ(H30)既設建物解体工事(その1)とシュワブ(H30)既設建物解体工事(その2)の工事内容の違いは何か。

○ 工事内容の違いは次回、説明する。

**● 業 務
一般競争入札方式
(政府調達協定対象外)
普天間(30)磁気探査業務(その1)**

○ 普天間(30)磁気探査業務(その1)の応募者が普天間(30)磁気探査業務(その2)から(その6)までと比較して少ないが理由は何か。

○ 普天間(30)磁気探査業務(その1)は磁気探査業務そのものに加え赤水等流出防止のための沈砂池なども含まれており、業務量も大きいことから、比較的体力のある企業が応募しているため、応募者が少なかったと考えられることに対し、普天間(30)磁気探査業務(そ

	<p>○ 土工事は再委託してもいいのか。</p> <p>一般競争入札方式 (政府調達協定対象外) 沖縄防衛局(30)資材価格等調査業務</p> <p>○ この資材価格等調査業務は どういった業務内容か。</p> <p>○ 防衛省が一括して全国分の 資材価格調査を発注し、実勢 価格を各地域ごとに出せばよ いのではないのか。</p> <p>一般競争入札方式 (政府調達協定対象外) シュワブ(H30)運動施設(055 5)新設土木その他補備設計</p> <p>○ 補備設計を行うこととなっ た理由は何か。</p> <p>○ 当初の実施設計が使えるの であれば、補備設計の予定価 格は、今の予定価格よりも、 低い金額で予定価格を設定で きたのではないか。</p>	<p>の2)から(その6)について は、同様な業務となっているこ とから一括審査方式として発注 しているため、応募者が比較的 多かったと考えられる。</p> <p>○ 受注者から通知を出してい ただき、その工事ができると確 認した上で受理をしている。</p> <p>○ 沖縄県内におけるコンクリー トや鋼材等の建設工事で使用す る資材の実勢価格や建設副産物 の処分場における受入れの実勢 価格を調査するものである。</p> <p>○ 地域ごとの実勢価格を把握す るため、各局において調査する のが望ましいと考える。</p> <p>○ 施設の配置計画を見直したた めである。</p> <p>○ 当該予定価格は、当初の実施 設計を使用する前提で積算して おり、防衛省所管の「積算要 領」に基づき各設計区分ごとに 必要性を検証した上で予定価格 を設定している。</p>	
<p>委員会による意 見の具申又は勧 告の内容</p>	<p>・特になし</p>		
<p>2. 談合疑義案件の処理状況について</p>			
	<p>談 合 疑 義 件 数</p>	<p>0 件</p>	<p>(審議概要) 該当なし</p>
<p>工</p>	<p>談 合 情 報</p>	<p>0 件</p>	

事	点検結果疑義	0件		
業	談合情報	0件		
務	点検結果疑義	0件		
		意見・質問 回答		
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		・なし		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし		
3. 入札結果の事後的・分析結果について				
審議概要		なし。		
		意見・質問		回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		○なし		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし		
4. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）		総件数	0件	（備考）
建設 工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0件	
	指名競争		0件	
	随意契約		0件	
建設コンサルタント業務等※			0件	
	申立日	件名	契約方式	内容等

再苦情申立概要 (再説明請求概要)				
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
	・なし			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし			

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関	陸上自衛隊（第430会計隊、第442会計隊、沖縄地方協力本部）	
審議対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
審議対象件数	106件（那覇）、20件（与那国）	
抽出件数	4件	/
一般競争	4件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回 答
○ 委員からの 意見・質問	<p>【一般競争入札】</p> <p>1 軽油ほか1件（与那国）</p> <p>○予定価格を算出する際、見積り（市価調査）を3社取ったということであるが、全て与那国の業者か。</p> <p>○与那国には落札したこの業者しか同等品の扱い業者はいないか。</p> <p>○与那国ということで業者は入札に参加しづらいと思うが、この落札業者の他に前例で落札した業者はあるか。</p> <p>○油の価格は変動が激しいが、どの時期に入札を実施しているか。</p>	<p>●落札した業者が与那国の業者であり、他の2社は那覇の業者です。</p> <p>●もう1社存在しますが、この業者は入札に参加意思がありません。市価調査依頼も実施しましたが、回答を得ることができませんでした。</p> <p>●前例については確認しておりません。</p> <p>●年間契約の単価契約ではなく、総額契約により、その所要時期ごとに入札を実施しています。</p>
	● それに対する 回答等	<p>2 賀数宿舍エレベーター保守点検整備（那覇）</p> <p>○業者見積りの回答が1社のみということであったが、何か理由があるか。</p>

	<p>○エレベーターのメーカーが2つあるが、メーカーごとの入札はできないか。</p> <p>3 給食業務部外委託・食器洗浄及び清掃作業部外委託（与那国）</p> <p>○入札に参加した3社については全て与那国の業者か。</p> <p>○従業員は全て与那国の人か。</p> <p>4 精白米（那覇）</p> <p>○米のブランド指定はあるか。</p> <p>○入札ごとに単価に差が出ているのは何故か。</p> <p>○時期により価格の変動があるのか。</p> <p>○コシヒカリにした理由は。</p>	<p>●検討します。また、県外の業者の参加も視野に入れて検討します。</p> <p>●全て与那国島外の業者です。契約業者は東京の業者です。</p> <p>●調理員については全て与那国島外の人で、食器洗浄作業については2名与那国の人です。</p> <p>●入札公告の規格欄に示しております。</p> <p>●事後的検証により検証しましたが、数量・時期により価格に変動があります。沖縄で離島という特性もあり、輸送に費用が掛かる特性もあります。</p> <p>●そのとおりです。また、業者の在庫量の影響もあります。</p> <p>●経費の範囲以内で、隊員の意見も取り入れております。</p>
--	---	--

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関	航空自衛隊	
審議対象期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日	
審議対象件数	1件	
1. 入札状況について（入札参加資格の決定、指名及び落札者決定の経緯について）		
抽出件数	1件	(審議概要) ・競争性のない随契リストの説明 ・残飯の引き渡し状況及び検査時数量の確認状況について説明。
一般競争	1件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの 質問・意見 ○それに対する 回答等	<p>【競争性のない随意契約説明】</p> <p>特に意見等なし。</p> <p>【一般競争入札】</p> <p>【再説明】 残飯処理 114,412kg 以下2件</p> <p>○ 航空自衛隊側の最終処分状況をどのように確認しているのか。</p> <p>○ 現場まで行って目視はしていないのか。</p> <p>○ 今回の説明は、前回と違うが、残飯は再生利用していて、広い意味では最終処分しているということか。</p> <p>○ 残飯の処分が適正に実施されているか確認する必要があると考える。</p>	<p>○ 残飯は再生利用していてその状況について電話で確認している。</p> <p>○ 業者からの聞き取りで確認している。</p> <p>○ そのとおりである。</p> <p>○ ご意見を参考とする。</p>